



うちのイチ押し!



防災学習プログラム第3弾

# 「OSAKA 防災タイムアタック! -やさしいにほんごで BOSAI-」

無料ダウンロード開始!

大阪市立総合生涯学習センターと、神戸学院大学が共同して、災害への備えを学ぶ、防災学習プログラム第3弾『OSAKA防災タイムアタック! -やさしいにほんごで BOSAI-』を開発しました。大阪市立総合生涯学習センターホームページから無料でご利用いただけます。

このプログラムは、言葉・文化・慣習の違いや、災害時の情報不足などにより、災害時に様々なリスクに直面することが予想される外国人住民を対象に、地震や災害に関する知識及び災害への備えについて、「やさしいにほんご」で学べる教材となっています。

また、日本人も共に学ぶことができるため、災害時に同じ地域に暮らす外国人住民への支援にもつながります。地域での勉強会などに、ぜひご利用ください。



## 「OSAKA 防災タイムアタック! -やさしいにほんごで BOSAI-」の利用方法

総合生涯学習センターホームページから無料でご利用いただけます(申込要)。

**利用方法** 「いちょうネット(大阪市生涯学習情報提供システム)」または総合生涯学習センターのホームページから「やさしいにほんごで BOSAI」を検索し、申込画面から申し込むとダウンロードに必要なアドレスとパスワードが即時に送付されます。

**利用申込URL** <https://osakademanabu.com/bosai/>  
インターネット環境があればどこでも気軽にご利用いただけます。(ダウンロード後はオフラインでも利用可)



**お問合せ** 大阪市立総合生涯学習センター  
(大阪駅前第2ビル5階)  
大阪市北区梅田1-2-2-500  
大阪駅前第2ビル5階  
Tel: 06-6345-5004

**費用** 無料



おおさか

## 歴史探訪

190

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

## みょうちやけ 妙知焼とオレンジストリート

大阪では数多くの災害がありました。火災はその代表でもあり、江戸時代には大規模な火災が幾度も起こっています。大阪における江戸時代の三大火災という、享保9(1724)年の享保の大火、天保8(1837)年の「大塩焼」、文久3(1863)年の「新町焼」があげられることが多いようです。そのうちもっとも規模が大きかったのが享保の大火、「妙知焼」として知られる火災です。

これはちょうど300年前の3月に起こったもので、現在の西区南堀江の一角、当時の橋通三丁目、金屋治兵衛の祖母であった妙知尼の家から出火したといわれています。そのため「妙知焼」とよばれました。火災は折からの強風にあおられ、風向きが変わっていったこともあって広い範囲に火が及びました。その結果、北は中之島から長柄、東は上町、島之内、南は道頓堀あたりまで、大坂三郷の中心部の三分の二あまりが焼失しました。一万戸以上が焼けたともいわれます。

この後、瓦葺の推奨や火消し制度の拡充など、大坂のまちづくりが改めて整えられていききっかけともなりました。

火災が起こったのは先号でも触れた堀江新地として開発された一角でした。橋通では古道具屋などが多く営まれ、明治以降には家具屋で知られました。現在は西区南堀江の一部となって、町名はなくなり、「立花通り」の名前だけが残されています。そして橋(立花)が柑橘類であることから「オレンジストリート」と愛称が付けられ、インテリアやアパレルなど新しい文化の発信されるエリアとして多くの人でにぎわっています。



現在のオレンジストリート(西区南堀江)

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)